

確認1 役員校の選出方法について

前年度、県代表として全国大会、関東大会に参加した学校の中、および役員会で推薦のあった学校の中から5校～6校選出する。役員校の任期は2年とする。

確認2 委員校選出の一時中断について

特定の委員校が全ての補助業務を行うという従来の方法では、大会を運営する事が難しくなっている。

- ・今年度も、委員校を新規に選出しない。
- ・大会運営の補助は、部員の多い学校に直接お願いをする。

確認3 担当者全体会議の持ち方と参加申し込み方法（昨年度改定）

昨今の公務等の繁忙・生徒引率のない出張のしにくさ、コンテスト説明の重複などを考慮し、生徒へのコンテスト説明会と重ねる。

また、参加申し込みを郵送に変更。

生徒向け説明会に参加申し込みを行っていたが、生徒向け説明会を早めたため、2度生徒を招集するのをさける。他の部活動の大会や、コンクールなどで取り入れている郵送での参加申し込みを行う。

確認4 参加費の納入方法は振り込み（昨年度改定）

昨今の会計処理等の透明性の重視・上記の申し込み方法の変更により、参加費を振り込みに変更。

* 郵送での参加申し込みは、NHK大会とアンデパンダン大会

総文祭は、アンデパンダンの説明会に申し込みを行うことができる。

* 参加費は、すべて振り込みによる納入にする。

確認5 NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川大会の審査員について(昨年度改訂)

NHK横浜放送局からのアナウンサー1名、ディレクター1名、計2名の審査員に加え、朗読部門、ラジオドキュメント・ドラマ部門、テレビドラマ部門の4部門でも特別審査員に審査をしていただく。

また、昨年度審査終了後、各会場にて特別審査員からの講評をいただきました。今年度もお願いする予定です。生徒のみなさんにもお知らせください。

提案 審査補助について

役員校の生徒だけでは、限界があります。

出場する生徒にも審査補助をお願いしたい。

今年度について

NHK杯・・・予選のある部門は、セティングと片づけ

決勝だけの部門は審査の補助を出場校の生徒にお願いします。

* セティングに来ていただくために出場順を事前にWEBページで発表する。

総文祭・・・全参加校に、補助員を1名お願いします。

アンデパンダン・・・生徒委員会で決定する。